

錦帯橋空港

百万人達成



2



3



4



5

Iwakuni City Topics | まちの話題

9月24日

岩国錦帯橋空港 百万人達成セレモニー

9月24日、岩国錦帯橋空港の利用者が100万人を達成し、空港ロビーでセレモニーが開催されました。平成24年12月13日に開港して以来、2年9カ月余りで記録達成となった岩国錦帯橋空港。100万人目となった利用者は驚きながらも、空港関係者らとともにくす玉を割って記録達成を祝いました。

100万人達成を記念して作られたモザイクアートも披露され、空港はお祝いムードに包まれました。

1. セレモニーには、福田良彦市長、村岡副政知事ら関係者が出席し、節目の記録達成を祝った。
2. 100万人を達成した便とその折り返し便の搭乗者全員に記念品を配布。
3. 100万人目となった神林さんは観光で家族と来岩。花束のほか、岩国特産品の詰め合わせや羽田-岩国往復ペア航空券などが贈られた。
4. 市民や空港利用者などから応募された写真を3,925枚使用して作った高さ2m、幅3.5mのモザイクアートが披露された。
5. モザイクアートは応募された写真の色を加工し作成。近くで見るとそれぞれの笑顔が。





季節の草木で 「草木染め体験」

9月7日、ハーモニーみわで、山から採取した草木で布を染める「草木染め体験教室」が行われました。

参加者は、輪ゴムで絞り模様を作った白い布を、温めた3種類の染液に入れ、混ぜながら染めていきました。参加者の一人は「孫の誕生日にプレゼントしたい」とにこやかに話してくれました。



クイズ、かかしはだ～れだ？

9月4日、周東町中田地区で、奥畑環境保全会による「^か山^か子^しづくり講習会」が開催されました。地域住民ら約20人が参加し、地元農家渡辺さんの指導により、約3時間で人間と見間違えるほどのかかし10体が完成しました。地区ではこのかかしを地域行事などで展示し、かかし作りを広めていく予定です。
(答え：手前の草刈り機を持っている人とその後ろに座っている人がかかし)

Iwakuni City Topics | まちの話題



ピエロの魔法でみんな笑顔に

9月14日、子供体験教室「ゆかいなピエロのバンバンとオチャラケももこのバルーンアート」が、本郷ふるさと交流館で開催されました。ピエロが風船を使って動物やお菓子を作り、さまざまなパフォーマンスを披露すると、会場の子供たちはピエロに魔法をかけられたように満面の笑顔になりました。



地域みんなで 楽しく運動

9月13日、「美川小・中学校合同秋季大運動会」が行われました。コミュニティ・スクールの指定を受けている両校の運動会には、地域の多くの人や高校生ボランティアが参加・協力し、大変盛り上がった素晴らしい運動会になりました。プログラム最後に行った「錦川清流線体操」も皆で盛大に楽しく行うことができました。



ちりめんモンスター発見！

9月20・21日、ミクロ生物館で、ちりめんじゃこに混じっている小さな海洋生物を探す「ちりめんモンスターをさがせ！」が開催されました。

参加者は目を凝らして、タチウオやエビなどの雑魚、カニ類の幼生などを見つけ、顕微鏡などを使って観察し、海の生き物の生態や特徴について学びました。



「敬老の日」岩国産の花で飾ろう！

9月15日、敬老の日を前に、養護老人ホーム久楽荘で岩国産の花を使った「フラワーアレンジメント体験」が開かれました。

市内で花を栽培する農家の指導を受けながら、ヒマワリ、リンドウ、トルコギキョウなどの季節の花をマグカップの器に盛り、施設や部屋を彩るきれいな花の飾りができました。



バロック音楽の心地よい響き

9月29日、錦ふるさとセンターで「文化芸術による子供の育成事業」としてテレマン室内オーケストラの巡回公演が行われました。体に伝わる音とバロック音楽の心地よい響きに、参加者は至福のひとときを過ごしました。プロの演奏で参加者全員が合唱するなど、貴重な体験になりました。



秋の夜長に名月を愛でる

旧暦の八月十五日となった9月27日、22時まで運行時間を延長して岩国城ロープウエー観月運転が行われました。

城山山頂駅広場では、お茶会や演奏会、天体望遠鏡による名月観察会などが開かれました。訪れた約1,600人の市民らは、眼下に広がる市内の夜景と中秋の名月の美しさに感嘆の声を上げていました。